

技術評価報告書

申込者： 北越メタル株式会社 代表取締役社長 大洞 勝義
新潟県長岡市蔵王三丁目3番1号
株式会社コーテックス 代表取締役社長 武山 直之
東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7 ウンピン神田ビル3階

技術名称： UHY685 フープ設計施工指針(2023年)

当法人「建築構造技術審議委員会」において慎重審議の結果、2023年12月27日付けの技術評価書(SABTEC 評価 18-01R1)の通り、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、本技術は妥当なものであると判断されたことを報告する。

2023年12月27日

一般社団法人
建築構造技術支援機構
代表理事 益尾 潔

建築構造技術審議委員会

委員長	窪田 敏行	近畿大学	名誉教授
副委員長	田才 晃	横浜国立大学	名誉教授
委員	磯 雅人	福井大学大学院工学研究科	教授
〃	岸本 一蔵	近畿大学建築学部建築学科	教授
〃	田中 剛	神戸大学大学院工学研究科	教授
〃	都祭 弘幸	福山大学工学部建築学科	教授
〃	三谷 勲	神戸大学	名誉教授



技術評価書

申込者：北越メタル株式会社 代表取締役社長 大洞 勝義
新潟県長岡市蔵王三丁目3番1号
株式会社コーテックス 代表取締役社長 武山 直之
東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7 ウンピン神田ビル3階

技術名称：UHY685 フープ設計施工指針(2023年)

技術概要：UHY685 フープは、北越メタル(株)が製造する大臣認定の685N/mm²級高強度異形せん断補強筋 SHD685 を用いた北越メタル(株)と(株)コーテックスの共同開発による鉄筋コンクリート造柱、梁の高強度せん断補強筋であり、1990年11月21日に日本建築センターで一般評定取得後、多数の製造実績を有し、その後、GBRC性能証明第14-28号(2015年2月12日)を取得している。

一方、UHY685 フープ設計施工指針(2019年)は、基礎梁実験を基に基礎梁横補強筋のフック付き重ね継手を適用範囲に入れ、SABTEC評価18-01(2019年1月23日)を取得し、SABTEC評価18-01R1(2023年12月27日)では、SABTEC高強度せん断補強筋設計施工指針(2023年)に準拠したUHY685 フープ設計施工指針(2023年)について行われている。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2023年12月27日

一般社団法人
建築構造技術支援機構
建築構造技術審議委員会
委員長 窪田 敏行

記

評価方法： 申込者提出の下記資料によって、技術評価を行った。
UHY685 フープ設計施工指針(2023年)および関連資料
これらの資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した技術資料がまとめられている。

評価内容： UHY685 フープを用いた鉄筋コンクリート造柱、梁は、長期荷重時に使用上支障を来たすひび割れおよび短期荷重時に修復性を損なうひび割れを起こさず、UHY685 フープ設計施工指針に定められたせん断終局耐力を有すると判断される。

技術評価内容

申込者

北越メタル株式会社
代表取締役社長 大洞 勝義
新潟県長岡市蔵王三丁目3番1号
株式会社コーテックス
代表取締役社長 武山 直之
東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7 ウンピン神田ビル3階

技術名称

UHY685 フープ設計施工指針(2023年)

適用範囲

- (1) 適用部位 鉄筋コンクリート造柱、梁
(2) 材 料

せん断補強筋 呼 称 : UHY685 フープ
種 類 : SHD685
(大臣認定番号MSRB-9004、平成14年5月7日)
呼び名 : UHD10, UHD13, UHD16
コンクリート 種 類 : 普通コンクリート
設計基準強度 : 21 N/mm²以上、60 N/mm²以下

技術評価の主な審議事項

UHY685 フープ設計施工指針(2023年)は、SABTEC 高強度せん断補強筋設計施工指針(2023年)に準拠して改定されていることを確認している。

技術評価の経過

2023年12月27日開催の第61回建築構造技術審議委員会では、申込者提出の技術資料について慎重に審議を行い、内容を検討した結果妥当なものであると判断した。

以上